

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

市中病院における経口セマグルチドの有効性・安全性の検討

【目的】

2型糖尿病の薬物療法において近年、唯一の経口 GLP-1 受容体作動薬である経口セマグルチドが登場し、国内臨床試験において、本剤が日本人 2 型糖尿病に対してプラセボと比較して有意な HbA1c 改善効果を示し、また安全性も担保されましたが、実臨床における有効性、安全性についてのエビデンスはまだ不足しています。そこで本研究では、一般市中病院の糖尿病外来に通院中に、経口セマグルチドを開始された 2 型糖尿病患者さんのデータを後方視的に解析し、その有効性・安全性の検討をすることを目的とします。

【対象】

2021 年 2 月 28 日から 2023 年 5 月 31 日までに、当院糖尿病リウマチ内科外来でリベルサス錠の投与を開始された 2 型糖尿病の方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、データシートへ入力します。データシートは当院内において保管し、解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療情報：（年齢、性別、糖尿病罹病期間、身長、体重、併用薬、血液検査結果、有害事象 等）
利用開始日：2023 年 10 月～

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2024 年 3 月

【研究責任者】

横浜市立市民病院 糖尿病リウマチ内科 今井 孝俊
*この研究は横浜市立市民病院のみで行います

【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 中澤 明尋

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表） 糖尿病リウマチ内科 今井 孝俊

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。